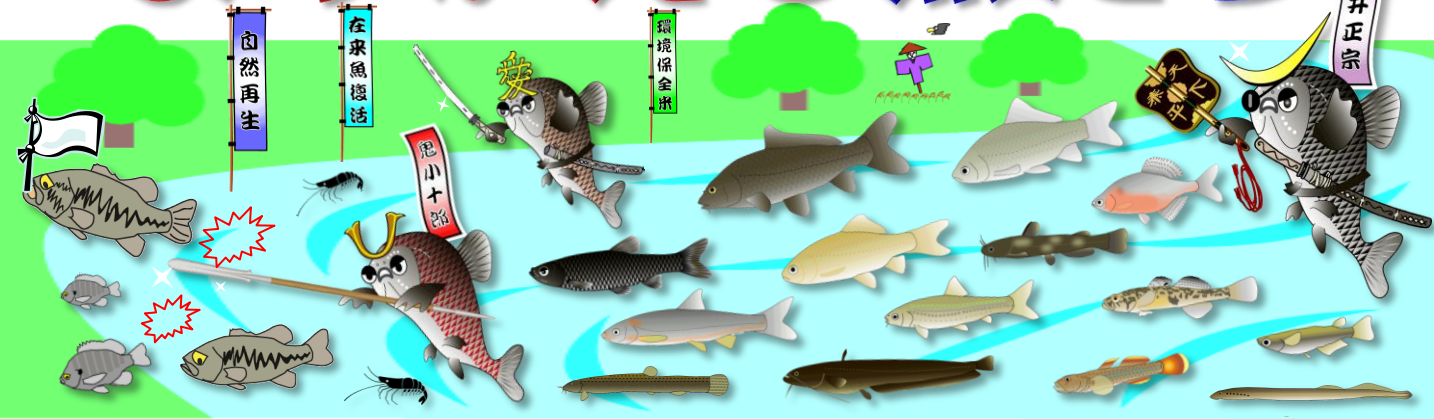


“よみがえる魚たち”



河川・湖沼などで進行する生態系の崩壊 豊かな自然をとりもどすため自然再生活動の成果を語り合う

開催日時：2010年10月23日(土) 9:30~17:30
場所：宮城誠真短期大学 宮城県大崎市古川福沼1-27-2
参加費：無料(情報交換会とオプションは参加申し込み必要)
情報交換会(18:30~):4000円 オプション:「雁の飛び立ちと水田魚道見学会」(定員26名)



第1部 自然再生活動と環境保全米

基調講演 ラムサール登録湿地「蕪栗沼・周辺水田」地域での取り組み
環境保全と保全米生産の戦略と実践 伸萌ふゆみずたんぼ生産組合 西澤 誠弘
●滋賀県高島市「たかしま生きもの田んぼ米」(たかしま有機農法研究会 梅村 元成)
●大崎市鹿島台「シナイモツゴの保護と環境保全米」(かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会 吉田 千代志)

試食会 12:30~13:30 先着100名 9:30から会場受付で整理券発行
シナイモツゴ郷の米、ヒシご飯、ヒシ茶、みやぎのポーク軟骨スープ

第2部 水辺の自然再生活動でよみがえる魚たち

基調講演 生物多様性の保全ー現状・なぜ・どのように
種多様性をまもるために 三重大学 淀 大我
遺伝的多様性をまもるために 東北大学 池田 実
パネルディスカッション 座長:全国ブラックバス防除市民ネットワーク 小林 光
●住民がまもる里山のゼニタナゴ(矢沢地域自然保護を考える会 根子 英郎)
●水族館の淡水魚保全の取り組み(アクアマリン福島 倉石 信)
●釧路湿原のイトウをまもる(釧路博物館 針生 勤)
●光が丘公園(東京)の自然再生(生態工房 林 真帆)
●ふ化稚魚飼育のためのプランクトン簡単培養(シナイモツゴ郷の会 久保田 龍二)
●性フェロモンを利用した外来魚防除の新技术(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 藤本 泰文)
●市民・農民連携で増えたシナイモツゴ生息池(シナイモツゴ郷の会 高橋 清孝)
●水田魚道で復元したドジョウ水田(伊豆沼・内沼ドジョウ・ナマズ研究会 三塚 牧夫)
●下水道整備などで川の水質が向上、広がるカジカ生息場(宮城県内水面水産試験場 遊佐 和洋、縄田 暁)
●伊豆沼にメダカがもどった(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 進東 健太郎)